

特集にあたって

金生由紀子*

小児期逆境体験 (adverse childhood experiences : ACEs) が, 発達過程はもちろん成長後の心身の健康に大きな影響を及ぼすことが明らかとなり, ライフサイクルをまたぐ連鎖に関する検討も重要となっている。ただし, ストレスを全くなくすることはできないので, 逆境を体験してもその悪影響を軽減させたり, むしろ発達の機会としたりする関わり方を探ることが考えられる。その際に, 小児期の肯定的体験 (positive childhood experiences : PCEs) が ACEs の影響を緩和できるのか, できるとしたらどのような関わり方がありうるのかなど両者の関係を検討することが有意義であり, 同時に, 本人および環境の両面を総合することで検討が深まると思われる。ここでいう環境とは, 家族など身近な周囲から社会全体まで幅広く考えられる。

そこで本特集は, ACEs と PCEs が絡み合いつつ及ぼす影響について, 発達の観点および生物学的・心理社会的観点から照らし出していただけたらと考えて企画した。まず, ACEs の概論から国際的な知見とわが国の現状を紹介いただき, 次にライフサイクルに沿って, それぞれの時期に生じやすいメンタルヘルスの問題や生活上の課題との関連で ACEs の影響を論じていただき, 治療や支援への示唆をいただいた。また, 当事者の語りを通して, サバイバーが置かれている現状について問題提起と臨床家への提言が寄せられた。そして, ライフサイクルをまたぐ連鎖に焦点を当てて, 心理社会的観点および生物学的観点から ACEs のメカニズムに迫り, 連鎖防止への働きかけにおける PCEs の可能性も示していただいた。

本特集を通して, ACEs に比べると知見がまだ少ない PCEs の理解が深まり, ACEs と PCEs の影響が次世代にどのようにつながっていくのかが少しでも明らかになることで, 当事者がより納得のいく人生を生きていけるよう, 本人から当事者を取り巻く家族や仲間, 学校や地域を含む社会まで, どこへどのようにアプローチできるかを考えられるようになれば幸いである。

* 全国療育相談センター/本誌編集委員